

## 飲料業界における、海洋プラ問題や環境対応の課題を解決！ サステナブル・環境対応製品が一堂に

海洋プラ問題が大きな話題になった2018年以降、飲料業界ではSDGsへの取り組みが不可欠となりました。そのため大手飲料メーカーをはじめとする多くの飲料企業が、環境に配慮した製品や包装材料の開発、PETボトル内製化、再生可能エネルギーの利用、CO2排出量の削減などを進めています。

本展では、**海洋プラ問題**や**環境対応**の課題を解決する

**サステナブル・環境対応製品**が多数出展します。ぜひ取材にお越しください。

\*本展示会の取材には、事前の取材申込が必要となります。

### 生分解性素材や紙容器、リサイクルなど、最新製品・技術を一挙ご紹介



廃棄物を減量・活用  
資源循環

乾燥減量装置  
マルチキングDNX

#### 燃やさず安全に、 廃棄物の排出を抑制・再資源化

廃棄物を高温で熱し乾燥・減量・殺菌する乾燥減量装置。環境に配慮した「間接加熱方式」により、処理済品は可燃性の固形物となり肥料や飼料、助燃材としてリサイクルが可能。

株式会社 マクニカ

#### 廃プラスチックを再生原料に

材質や汚れの有無などによっては、燃料として利用するのではなく、再度プラスチック原料に加工する“マテリアルリサイクル”が可能なものも実在。燃料利用以外の廃プラスチックの活用方法として、原料として活用するマテリアルリサイクルを推進・ご提案。

株式会社 サニックス



廃プラスチックを再生原料に

廃プラスチックのことならサニックス



## 食品残渣発酵分解装置「フォースターズ」

食品残渣を発酵分解させることで、従来の食品残渣廃棄や回収コストを大幅に削減。食品残渣投入後、24時間で分解完了。嫌な臭いはほとんど発生せず、店舗での設置も安心。

NTTビジネスソリューションズ 株式会社



## 資源循環・コストダウンソリューション

飲料/食品製造業向けにエネルギー・食品の循環/食品の循環のご提案及び、トータルECO回収システムの運用によるコストダウンと環境負荷低減をご提案。

J-CIRCULARS株式会社



## 植物由来の環境にやさしいエコ素材

植物由来の環境にやさしいエコフィルター。燃やしても大気中の二酸化炭素(CO2)の増減に影響を与えない「カーボンニュートラル」の考えに基づき、商品化。植物性デンプンを原料にしたバイオマス素材で土に還ります。

日精 株式会社

# 大手ビールメーカーのサステナビリティ戦略など最新セミナー全80講演

### アサヒグループの取り組むサステナビリティ戦略



アサヒグループジャパン (株)  
執行役員 コーポレートコミュニケーション戦略部長  
高森 志文



### 日本の資源循環経済政策について



経済産業省  
産業技術環境局 資源循環経済課 課長  
田中 将吾



### アルミでかなえる軽やかな世界～飲料容器の持続可能性への挑戦～



(株) UACJ  
代表取締役 社長執行役員  
石原 美幸



### “サステナブル”を再定義する



東洋製罐グループホールディングス (株)  
常務執行役員 グループ顧客ソリューション機能統轄  
西野 聡



### 【開催概要】

第8回 ドリンク ジャパン - [飲料][液状食品]開発・製造 展 -

会期:2023年12月6日(水)~8日(金) 会場:東京ビッグサイト 主催:RX Japan(株)

※数字は予定であり、開催時に増減する可能性があります。※講師一部紹介(2023年11月24日 現在)

◆取材お申込み、プレスの方の来場登録はこちら>>

<お問い合わせ先>

RX Japan(株) ドリンクジャパン 事務局 広報担当 高橋

TEL:080-4608-4841 E-mail:Rio.Takahashi@rxglobal.com

